



1. 日本イエイツ協会第52回大会報告
2. 新委員改選結果および新事務局長の就任について
3. 2017年 第53回大会のお知らせ
4. 2018年度大会について
5. 国際イエイツ協会 (IYS) ジャーナルへの『イエイツ協会』論文の転載について
6. 日本・アイルランド外交関係樹立60周年記念事業「茂山千五郎家アイルランド公演 Ireland Meets Japan: W.B. Yeats, Lafcadio Hearn and Kyogen アイルランドと日本の邂逅〜W・B・イエイツ、ラフカディオ・ハーンと狂言〜」について
7. 日本・アイルランド外交関係樹立60周年記念事業「ダブリン市立図書館 Japan Corner 設置」について
8. 2017年度より会費変更のお知らせ (重要)
9. 会費納入のお願いとお知らせ (重要)
10. メーリングリストの作成について
11. 『イエイツ研究』原稿募集
12. 会員の住所・所属等の変更について

1. 日本イエイツ協会第52回大会報告

2016年度の年次大会を10月22日(土)、23日(日)に東海大学高輪キャンパスにおいて開催しました。

今大会は、復活祭蜂起100周年に当たり、国内外の学会で復活祭蜂起に関連するシンポジウムやワークショップが開催されました。開催校を快くお引き受けくださった奥田良二氏には、準備から大会終了まで運営へのご尽力と細やかなご配慮をいただきました。また、お手伝いくださった東海大学の学生の皆様にもたいへんお世話になりました。心より感謝申し上げます。

初日は、基調講演、研究発表2本、シンポジウム、2日目には、研究発表3本、ワークショップというプログラムで構成されました。

第1日目に、会長奥田良二氏による開会の挨拶、さらに東海大学文学部長北條芳隆氏と駐日アイルランド大使館副代表参事官 Jonathan Patchell 氏のご挨拶がありました。両氏のご厚意に深く感謝いたします。

基調講演では、谷川冬二氏(甲南女子大学教授)が「復活祭蜂起100周年とコメモレイションの作法」(司会奥田良二氏)と題し、歴史をたどりながら、アイルランド各地でのコメモレイションの形と意義を、貴重な資料と共にお話いただきました。

今年度の総会は、司会を星野恵里子氏が担当し、議長として藤本黎時氏を選出。委員改選の結果報告と会長選出結果、2015年度収支決算並びに2016年度

(2016.4.1~2017.3.31) 予算案、2017年度から(2017.4.1-)の会費の変更:一般会員7,000円、学生会員3,000円が審議にかけられ、了承され、『イエイツ研究』47号の編集状況の報告がありました。

午後には、佐藤容子氏(東京農工大学教授)が「イエイツの奇跡劇 — 『復活』の舞台表象について」(司会 松田誠思氏)、原田美知子氏(桜美林大学教授)が「1927年とイエイツ」(司会 小堀隆司氏)とそれぞれ題し研究発表。つづいて岩田美喜氏(東北大学准教授)の司会・構成によるシンポジウム「イエイツと復活祭蜂起」があり、パネリストには長谷川弘基氏(神戸学院大学教授)と伊達恵理氏(明治大学兼任講師)。詩や戯曲に現れる復活祭蜂起のイメージや、詩人の責任、美との関連について、活発なディスカッションが行われました。

翌2日目の午前中に山内正太郎氏(学習院大学大学院)が「イエイツ、日本へ? — 果たされなかったイエイツ来日、そして「お雇い外国人」の問題について」(司会 浅井雅志氏)、中村麻衣子氏(首都大学東京准教授)が「欲望のかたち — イエイツの恋愛詩を読み直す」(司会 松村賢一氏)、伊里松俊氏(愛知県立大学名誉教授)が「イエイツとワーズワスにみるロマン派想像力」(司会 山崎弘之氏)とそれぞれ題し研究発表。

午後には、奥田良二氏(東海大学教授)の司会・構成によるワークショップ「Easter 1916」を読む」を行いました。パネリストとして池田寛子氏(京都大学准教授)、石川隆士氏(琉球大学教授)が務めました。「Easter 1916」を、*Cathleen ni Houlihan*、ジェンダー、詩の構成と展開、という異なった視点から分析することによって、詩人の創作意図を明らかにしようとするもので、フロアとの活発な意見交換が行われました。

大会両日を通じて、会員のみならず非会員の参加が多かったのは嬉しいことでした。新しい視点からの発表も多く、刺激的で、フロアから活発な質疑応答やディスカッションもありました。さらなるイエイツ研究の発展の可能性を大いに感じることができました。閉会の辞では、任期を終える海老澤邦江事務局長(江戸川大学教授)が、この4年間の学会運営について語られ、会員の協力に感謝されました。それに対し参加者から温かい拍手が送られました。こうして盛会の内に終了。復活祭蜂起から100年を経て、この出来事を再検討する意義深い大会となりました。

2. 新委員改選結果および新事務局長の就任について

2016年11月を持って委員の任期終了にともない、

新委員の選挙を郵送により行い、海老澤邦江、小堀隆司、伊達恵理の各氏3名で構成された選挙管理委員会に、選挙立ち合い人として中村麻衣子氏が加わり、2016年10月2日(土)青山学院大学にて厳正に開票作業が行われました。その結果、以下の24名の方々が10月21日(金)の委員会で選出され、翌22日(土)の総会において承認を受けました。

浅井雅志(以下、敬称略)、池田寛子、石川隆士、伊東裕起、岩田美喜、海老澤邦江、岡室美奈子、奥田良二(会長再任)、柿原妙子、小堀隆司、佐藤容子、諏訪友亮、伊達恵理、伊達直之、谷川冬二、榎木伸明、中尾まさみ、西谷茉莉子、萩原眞一、松田誠思、松村賢一、真鍋晶子、三好みゆき、山崎弘行

その後、12月3日(土)青山学院大学において委員会が開催され、事務局長=諏訪友亮、会計=三好みゆき氏、『イエイツ研究』編集長=石川隆士氏が推薦され承認を受けました。今後とも会員の皆様からのご理解とご協力をお願い申し上げます。

3. 2017年 第53回大会のお知らせ

2017年度第53回大会を11月18日(土)、19日(日)の両日に渡り、中央大学多摩キャンパス(東京)において開催予定です。開催にあたっては、三好みゆき氏のご尽力をいただくことになり、心より感謝申し上げます。

記念講演では浅井雅志氏が近著をもとにお話しくださいます。

シンポジウムは、2014年度大会ワークショップの第2弾「イエイツ再読——〈世界文学〉として(2)」です。司会・構成を2014年度大会に引き続き榎木伸明氏が、パネリストを岩田美喜氏、鈴木暁世氏(金沢大学、外部講師)、諏訪友亮が務め、各地域においてイエイツがどう読まれ、世界文学としてどのように豊かな文脈を持つに至ったかを検討します。

ワークショップは、「教室のイエイツ:「英語」の授業でイエイツ詩を教えること(仮)」をテーマとします。司会・構成を柿原妙子氏が担当され、すでに数名の発表者が決定しております。日々の教室で会員の皆さまが直面する問題、「イエイツをどのように教えることができるのか?」について新鮮な方法を提案するとともに、ひいては英語教育、文学教育といった領域にも踏みこむものです。

ワークショップでは残り1名の発表者を募集しております。英語の授業でイエイツを教えたことがある方は司会の柿原氏(taeko.kakihara@gmail.com)までご連絡くださいませ。

今大会からワークショップは、シンポジウムとの違いを明らかにするため新たな形式を取ることとなりました。一人の発表時間を5~10分ほどに短縮、発表者を5名程

度に増やすことで、フォーマルな研究発表というよりは刺激的な試論をフロアに投げかけ、会場全体で意見を出していく機会を設けます。

研究発表をされる方を募集しております。ご希望の方は、5月末日までに、タイトルと概要を添えて、事務局の諏訪(tomoaki.suwa@gmail.com)にお知らせ願います。会員の皆様からの積極的なご参加をお待ちしております。ご不明な点などは、事務局にお問い合わせください。

4. 2018年度大会について

2018年度の大会をIYSと京都で合同開催すべく、真鍋晶子氏をはじめ、浅井雅志氏、池田寛子氏、海老澤邦江氏、佐藤容子氏、西谷茉莉子氏が会場の設定など調整くださっております。関係諸氏のお力添えに改めて感謝申し上げます。

5. 国際イエイツ協会(IYS)ジャーナルへの『イエイツ研究』論文の転載について

現在までの取り決めによれば、『イエイツ研究』に掲載された論文は、まず執筆者がIYSに英文の概要を送り、それが受理された後、執筆者自らが翻訳した論文全体をIYSに送ることになります。掲載は論文ではなく翻訳のセクションになります。執筆者が英語化を望まないのであれば、それも可能です。

6. 日本・アイルランド外交関係樹立60周年記念事業「茂山千五郎家アイルランド公演 Ireland Meets Japan: W.B. Yeats, Lafcadio Hearn and Kyogen アイルランドと日本の邂逅~W・B・イエイツ、ラフカディオ・ハーンと狂言~」について

茂山千五郎氏によるアイルランドと日本での公演が決定・計画されています。公演の演目の一つは、イエイツがアイルランドの伝承を元に狂言を意識して書き上げたという演劇『猫と月』で、日本の狂言界を代表する茂山千五郎家が、アイルランドで初演をします。茂山千五郎家はイエイツ生誕150周年の2015年、『猫と月』に狂言としての演出を施し、神戸で世界初演を行いました。今回は里帰り公演ともいえ、同時にアイルランドの劇団が、英語による原作のままの『猫と月』を西洋演劇として上演します。このことにより、原作に内在する2つの文化的原点を、2文化の演劇形態により提示し、日愛の文化的相克と共通性を再認識させる試みとなるでしょう。

日本では、彦根、松江、焼津、富山、京都(国際イエイツ協会大会)での凱旋公演が予定・調整されております(以上、真鍋晶子氏による企画書を事務局でユニコーン用にまとめ記載いたしました)。

ご覧のような大規模な公演計画が進行しており、公演実行委員会は公的機関へ資金援助を申請されておりますが、皆さまのご協力が必要な状況と伺っております。以下が寄付を受け付ける実行委員会の銀行口座となります。協会会員の皆さまのご援助をお願いいたたく存じます。

滋賀中央信用金庫
店番 001 彦根営業部
普通口座 口座番号 0655141
茂山狂言アイルランド公演実行委員会 (委員長 真鍋晶子)
〒522-0063 滋賀県彦根市中央町 5 番 9 号
1602(金融機関コード)

7. 日本・アイルランド外交関係樹立 60 周年記念事業「ダブリン市立図書館 Japan Corner 設置」について
2 月 18 日にダブリン市立図書館で贈呈式が行われました。その様子はアイルランド日本大使館の Facebook (<https://www.facebook.com/JapanInIreland/>) にも掲載されています。窓口となられた真鍋晶子氏、事業に携わられた海老澤邦江氏、松田誠思氏、アイルランド協会事務局長の佐藤泰人氏に深く御礼申し上げます。

8. 2017 年度より会費変更のお知らせ (重要)

2016 年度大会総会で議決されましたように、2017 年度 (2017.4.1～) より一般会員の年会費を 5000 円から 7000 円へ、学生会員の年会費を 2000 円から 3000 円へ 変更し、財務の改善を図らせていただきます。皆さまのご協力に感謝いたしますとともに、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

9. 会費納入のお願いとお知らせ (重要)

2016 年度以前の会費(一般 5,000 円、学生 2,000 円)をまだ納入されていない方は、ゆうちょ銀行の振込用紙の通信欄に「～年度会費」と明記しご納入、ATM からお振込の場合は振込人名の前後に年度の数字を入力していただければ幸いです。2014 年度以降会費納入が確認されない場合、協会からの発送物をお届けできなくなる恐れがございます。協会は、会員の皆様方の会費で運営されております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。詳しくは同封の納入に関する書類をご覧ください。

振込先：ゆうちょ銀行

*ゆうちょ口座からお振込

総合口座 ニホンイエイツキョウカイ
口座記号 10100
口座番号 51712871

*他の金融機関からお振込

普通預金：ニホンイエイツキョウカイ
店名：〇一八 (ゼロイチハチ、セ〜で検索)
店番：018
口座番号：5171287
(振込できない場合は 51712871)

10. メーリングリストの作成について

日本イエイツ協会についての情報は、年 2 回の「ユニコーン」に限られてしまう事態を考慮し、最新の情報を適宜メーリングリストで配信していくこととなりました。配信を希望されない方は、誹訪 (tomoaki.suwa@gmail.com) までご連絡ください。また事務局でメールアドレスを把握していない会員の方もおられます。メーリングリストで配信を希望される方も誹訪までお知らせ願います。

11. 『イエイツ研究』原稿募集

『イエイツ研究』48 号の原稿を募集しております。締切は 2017 年 5 月末日です。詳細につきましては、同封の『イエイツ研究』47 号投稿規定をご覧ください。皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。

12. 会員の住所・所属等の変更について

会員の皆様の住所・メールアドレス・所属等の変更につきましては、お手数をおかけしますが、メールもしくは郵便等で下記の事務局までお知らせください。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



<日本イエイツ協会は、日本学術会議協力団体の登録団体です>

*****The Yeats Society of Japan*****

(大変恐れ入りますが、以下の事務局所在地は 2017 年 4 月から使用となります。電話・Fax は次回の Unicorn で記載、E メールでのお問い合わせは随時受け付けております。)

日本イエイツ協会事務局
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 国際食料情報学部
国際バイオビジネス学科 誹訪研究室
Email: tomoaki.suwa@gmail.com
URL: the-yeats-society-japan.jp